

2025

J A 東京あおばレポート



令和6年4月1日～令和7年3月31日
事業概要のご案内



ごあいさつ

平素よりJA東京あおば各事業ならびに活動に対しまして、組合員・地域の皆さんには、一方ならぬご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。このレポートは、皆さまが当JAを安心してご利用いただけるよう、経営内容をご説明したものです。

令和7年度は、第10次中期経営計画(農業振興計画含む)一令和7年度～令和9年度一の初年度となります。役職員一丸となり、計画を着実に実践してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



東京あおば農業協同組合
代表理事組合長

久保 亨一

社会的存在意義(パーカス)

協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かなくらしと活力ある地域社会を実現する

経営理念(ビジョン)

農業の豊かさ、人の和を大切にし、地域になくてはならない存在をめざします

使命(ミッション)

1. 都市農業を守る 2. 組合員のくらしをサポートする 3. 食と農を通じた活動で地域に貢献する

価値観(バリュー)

わたしたちは、「4つの満足(4S)の向上」を、

事業活動を展開するうえでの共通の価値観とし、経営理念の実現をめざします。

4つの満足とは、組合員満足(MS)、組織満足(SS)、職員満足(ES)、地域満足(AS)の全てが満たされ、

4つの満足(輪)が均等に広がることで初めて達成できるものです。

JAあおばがめざす4つの満足(4Sモデル)

組合員満足

組合員が、JAへの積極的な参加・参画によって協同の成果を実現し、都市農業の振興をはじめそれぞれの願いが充たされること

組織満足

組織が健全に経営され、信頼されるJAとして、地域になくてはならない存在であり続けること



地域満足

JAが、協同の輪を地域に広げ、地域の活性化・持続的発展に貢献することにより、地域の皆さまのくらしが豊かになること

職員満足

職員が、働くよろこび、仕事のやりがいを通じて成長し、心を高められる職場であること

プロフィール

創立	平成9年4月1日、板橋・練馬・石神井・大泉の4農協が合併し、「新しい青葉若葉が成長し、やがて生い茂り見事な大木となるように」「東京にいつまでも木々の青葉や緑を残したい」という願いを込めて『JA東京あおば』が誕生しました。
本店所在地	東京都練馬区高松 5-23-27
地区	板橋区・北区・豊島区・練馬区
農業	キャベツを基幹作物として、ダイコンやブロッコリーなど多品目が栽培されており、花卉・果樹・植木・盆栽なども生産されています。また、伝統作物の復活栽培にも取り組んでいます。
出資金*	20億6,722万円
役職員数*	役員33人 職員370人(令和7年3月末退職者・パートタイマー・派遣職員を除く)
組合員数*	27,074人(正組合員2,659人 准組合員24,415人)
子会社	1社(東京協同サービス株式会社)

*数値は、令和7年3月31日現在のものです。

第28回 通常総代会

とき 令和7年6月24日(火)
ところ 光が丘IMA IMAホール

1. 報告事項

- (1) 第28期貸借対照表、損益計算書及び注記表の報告について
- (2) 第9次中期経営計画(農業振興計画含む)一令和4年度～令和6年度一
「未来へつなぐ協同の輪」の取り組み報告について
- (3) 「JAバンク基本方針」の変更について

2. 決議事項

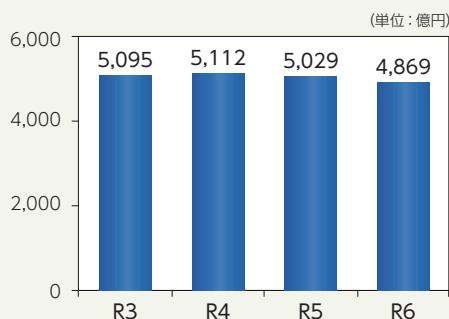
- 第1号議案 令和6年度事業報告及び第28期剰余金処分案の承認について
第2号議案 第10次中期経営計画(農業振興計画含む)
一令和7年度～令和9年度一について
第3号議案 令和7年度事業計画設定について
第4号議案 定款の一部変更について
第5号議案 令和7年度理事及び監事の報酬等の額の決定について
第6号議案 役員退職慰労金の支給について
第7号議案 役員選任について

上記の決議事項はすべて承認されました。

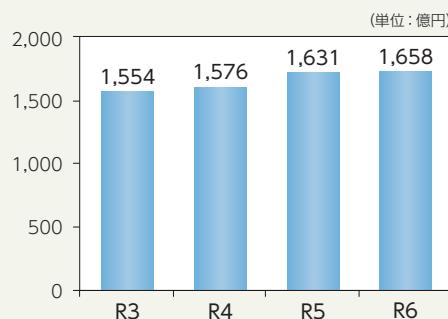
主な事業実績

[注]本レポート中の金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

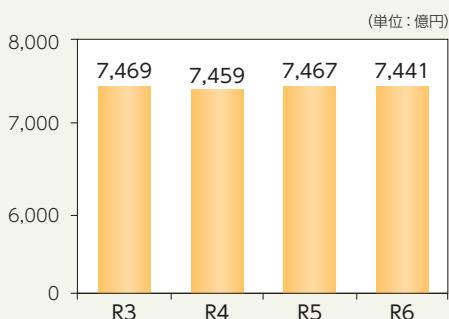
貯金残高の推移



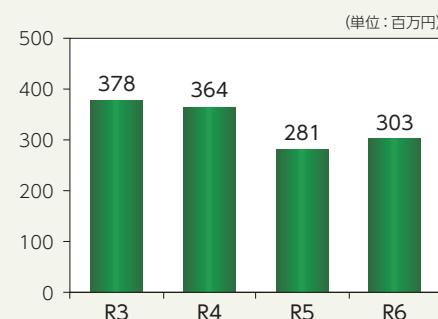
貸出金残高の推移



長期共済保有高の推移



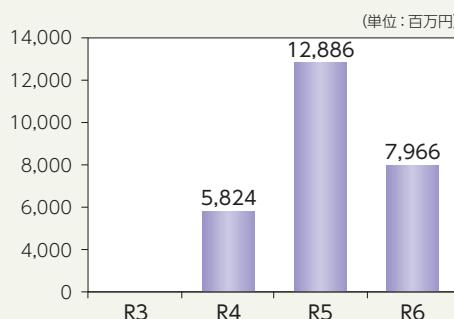
購買品取扱高の推移



販売品取扱高の推移



宅地等供給事業取扱高の推移



※令和4年度より、地域振興事業本部に新設した資産管理部の宅地等供給事業取扱高を計上しています。

経営内容について

総 資 産
組 合 員 資 本
事 業 利 益
経 常 利 益
当 期 剰 余 金

5,248億 8,494万円
386億 3,676万円
2億 2,416万円
5億 8,783万円
5億 2,924万円

(令和7年3月31日現在)

剰余金処分計算書

(単位：円)

科 目	金 額
1 当期末処分剰余金	1,565,019,438
2 任意積立金取崩額	106,779,109
事業基盤強化積立金	106,779,109
3 剰余金処分額	691,389,534
(1) 任意積立金	473,491,145
特別積立金	430,000,000
税効果会計調整積立金	43,491,145
(2) 出資配当金	60,447,921
(3) 事業分量配当金	157,450,468
4 次期繰越剰余金	980,409,013

[注]

1. 出資配当は年 3.0%の割合です。
2. 事業分量配当の基準は次のとおりです。
 - (1) 当座性貯金の平均残高に対し、年 0.01%の割合です。ただし、決済用貯金は除きます。
 - (2) 定期性貯金の平均残高に対し、年 0.07%の割合です。ただし、特別金利適用分は除きます。
 - (3) 貸出金の受取利息に対し、年 5.0%の割合です。ただし、貸出金利 年 1.125%以上を対象とします。
3. 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額 27,000 千円が含まれています。

経営の健全性について

18.07%

(令和7年3月31日現在)

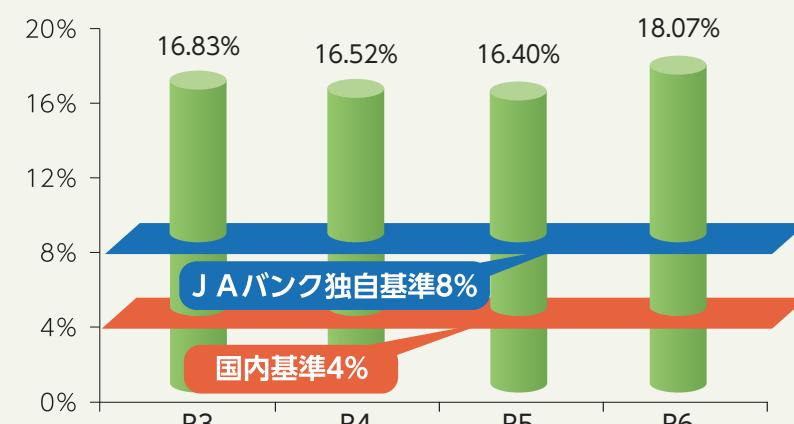
J A バンク独自基準 8%

国内基準4%に対して、国際統一基準である8%をJ A バンク独自基準として定め、健全性を高めています。

国内基準 4%

海外営業拠点を有しない銀行の自己資本比率基準は、4%以上とするものです。

単体自己資本比率の推移



JA東京あおば第9次中期経営計画（農業振興計画含む） 令和6年度 取り組みのご報告

令和6年度は、第9次中期経営計画（農業振興計画含む）－令和4年度～令和6年度－の最終年度として、3つの戦略「持続可能な都市農業の確立」、「対話運動を通じた組合員とのつながり強化」、「経営基盤の強化・人財育成」を基軸に、JA東京あおばの自己改革に取り組むとともに、組合員の皆さまのご意見・ご要望をJAの事業活動に反映しながら、組合員と共に歩む事業運営を行つてまいりました。主な取り組みについてご報告いたします。

第1の柱 「農業振興計画」－持続可能な都市農業の確立－

農業者の所得増大に向けた営農指導の強化

地域振興専門担当者による農業概況調査及び農地管理状況の把握など訪問活動を強化しました。また、作付け計画の提案・農機修理・点検整備サービス利用の拡大・農業者・事業者と連携した販路拡大・生産履歴の提出率向上に取り組みました。指導の強化を図ったことにより、直売所出荷者の生産履歴の提出率は大幅に改善されました。

作付け提案戸数：31戸 農機修理新規利用件数：33件 マルシェ等農産物販売回数：18件



支援等を行った主なイベント

- | | |
|-----|---|
| 4月 | ・春季植木市【板橋区】(4/19,20,21) |
| 5月 | ・春季植木市【板橋区】(5/10,11,12) |
| 6月 | ・どこでもマルシェ in 関町支店【練馬区】(6/14)
・田柄支店即売会【練馬区】(6/25) |
| 7月 | ・区役所マルシェ【練馬区】(7/18)
※当JAは夏野菜を出店 |
| 10月 | ・秋季植木市【板橋区】(10/3,4,5) |
| 11月 | ・第47回板橋農業まつり【板橋区】(11/9,10)
・第27回JA東京あおば農業祭【練馬区】(11/16,17)
・ねりマルシェ【練馬区】(11/24) |
| 12月 | ・第18回練馬大根引っこ抜き競技大会【練馬区】(12/1)
・マルシェ de 延伸大江戸線【練馬区】(12/3,4) |



売れる直売所に向けた運営体制強化

売れる直売所に向けて、アスパラ・ウド・果実等の積極的な買い取りを行い、各直売所で販売しました。また、都内JA（JAにしたま・JA東京みどり）とのPB商品の流通や、提携JAを中心とした仕入れ強化に加え、畜産加工品等を取り扱い、品揃えの充実を図りました。

直売所統一イベントとして、7月・11月に「直売所フェスタ」を開催し、子どもから大人まで楽しめる抽選会等を企画しました。



食と農を通じた豊かでくらしやすい地域づくり

練馬区立高松みらいのはたけ等で子ども向け農業体験を実施しました。（15回）

練馬区から委託を受け管理している練馬区立高松みらいのはたけでは、練馬大根をはじめ、いろいろな野菜の種まきから収穫までの一連を体験できるイベントを実施しました。

12月には「第18回練馬大根引っこ抜き競技大会」を開催し、収穫されたダイコンは翌日以降の練馬区内小中学校で学校給食の食材として利用されました。

また、区内小学校の社会科見学の受け入れ（7校、562人）をはじめ、福祉行政と連携した農業体験として「ひとり親家庭収穫体験事業」を実施し（3回）、農福連携活動に取り組みました。中野区や新宿区などJAのない行政区への学校給食食材提供も行いました。（31回・72校）



第2の柱 ／ 「組織基盤戦略」－対話運動を通じた組合員とのつながり強化－

組合員（正・准）との対話運動の展開

支店渉外担当者・地域振興渉外担当者による日常的な訪問活動を強化したほか、支部長会議（合計20回）、組合員座談会（合計12回）を各地区で開催しました。また、JA東京あおば組合員アンケート2024ならびに、准組合員アンケートを実施し、多数のご回答をいただきました。ご要望の多かった「相続」をテーマに各部署が連携し、組合員の一人ひとりのニーズに合わせた提案・実行支援を行うため、課題解決型の相続相談業務を第10次中期経営計画（農業振興計画含む）-令和7年度～令和9年度-にて実践してまいります。



組合員組織の基盤強化

組合員組織の基盤強化をするとため、一戸複数組合員制による正組合員加入促進ならびに、支店渉外担当者の訪問活動を通じた准組合員加入促進を行いました。新規加入者：正組合員110人、准組合員924人となりました。日頃の感謝を込めて、組合員の皆さんに、直売所で利用できるお買物補助券(500円)を配布しました。

また、JAの活動主体である各部会への加入促進に向けた意見交換会を実施するとともに、青壮年部や女性部をはじめとした各部会の支援を継続的に行いました。



次世代の組合員リーダーの育成

次世代の組合員リーダーの育成を目的とした第1期JA東京あおばカレッジは、卒業式を含めたカリキュラム全12回を実施し、受講生8人が卒業しました。また、卒業記念旅行（沖縄）を実施し、受講生同士の親睦がさらに深まりました。

令和7年度10月からは、第2期JA東京あおばカレッジを開講予定しております。ぜひ、参加希望の方は、各支店窓口までお問い合わせください。



協同組合運動を促進する広報活動の展開

広報誌「あおば」は、都市農業・当JAの魅力を発信し、組合員・地域の皆さまとの対話ツールとして、年間4回発行しました。紙面の内容・構成・文字の大きさなど見やすさの観点から改善してまいりました。今後も、皆さまから愛される広報誌「あおば」をめざしてまいります。また、都市農業の魅力を発信し、地域農業のファンづくりにつながる広報活動を展開するため、「ショート動画」を作成しました。今年度も引き続き、ショート動画を作成してまいります。



第3の柱

「経営基盤戦略」－経営基盤の強化・人財育成－

組合員の資産を次世代へつなぐ、各部署と連携した訪問活動

資産保全有効活用提案をはじめとした、相続事前相談・相続シミュレーションを実施しました。また、組合員の皆さまの資産を次世代へつなぐ、各部署と連携した訪問活動に加え、相続相談セミナー等を開催しました。

取り組み内容	実績
資産保全有効活用提案	84件
相続事前相談・相続シミュレーションの実施	141件
事業承継支援・遺言信託相談	84件
資産保全・運用・活用・相続相談セミナーの開催	4回

事業運営の見直しによる効率化・経費削減

支店再編計画に基づき、平和台支店と桜台支店を令和7年2月に統合しました。引き続き、「組合員のお宅が窓口」となるように訪問活動を強化し、お客様に出向く体制を充実させてまいります。



人財育成・活力ある職場づくり

専門性の高い職員の育成し、「何かあったらすぐJA」と組合員・地域の皆さまから「頼りにされる職員」をめざし、職員一人ひとりが働きがいをもてる、活力ある職場づくりに取り組んでまいりました。

当JAでは、組合員（資産活用・相続・事業継承関係）を講師に招いて、専門担当者を対象とした勉強会の他、外部講師（FP2級取得講座）や職員（JA資格認証試験）が講師となり勉強会を実施し、職員の資格取得の支援も行ってまいりました。※資格者数一覧は最終ページに記載しています。

NEXT AOBA PJ（ネクストアオバプロジェクト）を活用した若手職員の育成

部署横断的な若手職員10人による「第3期 NEXT AOBA PJ」が発足し、若手職員の持つ、新鮮な発想で現場目線のアイディアや意見を経営に取り入れていくことを目的としております。

8月には、入組2年～7年目の職員が、協同活動の意義や事例を学ぶ「NEXTの部屋」を開催し、協同活動の知識や職員同士のつながりを深めました。

その後、「協同活動の実践」をテーマに、組合員・地域住民・職員の3者がメリットを感じる活動をめざし、4カ所展開する農産物直売所の出荷者95人を紹介する冊子「ツクリテ～生産者の手と消費者の手をつなぐ～」を作成しました。



J A東京あおばの自己改革工程表 [－令和4年度～令和6年度－] 結果ご報告

重点施策		成果指標・計画値			
都市農業の振興【農業者の所得増大】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
マルシェ等農産物販売会の支援		実績	実績	計画	実績
対象者：青壯年部員等	想定：売上増加効果	10回 (支援29回)	3回 (支援27回)	17回	7回 (支援18回)
3年間合計：30回	1団体売上 15万円／回				
肥料・農薬を除く生産資材共同購入の実施		実績	実績	計画	実績
対象者：農業者	想定：コスト低減効果	4品目 (平均11.4%低減)	10品目 (平均15.3%低減)	4品目	104品目 (平均21.0%低減)
3年間合計：10品目	1品目あたり平均10%低減				
販取販売方式の導入		実績	実績	計画	実績
対象者：直売所出荷者	想定：売上増加効果	令和3年度対比 17.2% 増加	令和3年度対比 29.0% 増加	令和3年度対比 30.0% 増加	令和3年度対比 1,326.2% 増加
令和3年度対比30%増加	直売所販売品売上高 令和3年度対比30%増加				
組合員とのつながり強化【対話：訪問活動】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
組合員（正・准）との対話運動の展開		実績	実績	計画	実績
組合員（正・准）加入運動の実施	3年後：組合員総数29,000人	27,316人	27,211人	29,000人	27,074人
支部長会議の開催	毎年4月、6月、10月、2月	16回、386人	16回、397人	20回、450人	20回、531人
組合員座談会の開催	毎年7～8月、1～2月	16回、261人	15回、365人	15回、200人	12回、409人
農業者訪問活動	対象農家：550戸（令和3年度基準）	502戸	449戸	全戸	452戸
人づくり・人財育成【組合員・職員教育】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
次世代の組合員リーダーの育成		実績	実績	計画	実績
J A東京あおばカレッジの開講・運営	3年間合計：12回	4回	6回	2回	2回
組合員から頼りにされる専門性の高い職員の育成		実績	実績	計画	実績
F P 2級	3年後：専門性の高い職員の育成	21.5%	35.3%	80.0%	40.0%
相続アドバイザー2級	3年間合計：20人	0人	1人	19人	1人
営農指導員	3年後：新規取得6人	2人	3人	2人	2人
宅地建物取引士	3年後：新規取得6人	4人	0人	2人	4人
経営基盤の確立・強化		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
支店再編方針に基づく第1期・2期支店再編計画の実践		実績	実績	計画	実績
令和6年度	14支店を9支店へ集約	13支店	10支店	10→9支店	9支店
売れる直売所に向けた運営体制強化		実績	実績	計画	実績
令和6年度	令和3年度対比（3年後：10%増加）	6.4%減少	4.6%減少	10.0%増加	16.8%増加
農業資金をはじめとした各種事業資金等の積極的な展開		実績	実績	計画	実績
令和6年度	融資残高の伸長（3年後：1,660億円）	1,576億円	1,631億円	1,660億円	1,658億円
組合員・地域の皆さまのニーズに応じた、金融商品の提供		実績	実績	計画	実績
令和6年度	貯金残高の伸長（3年後：5,050億円）	5,112億円	5,029億円	5,050億円	4,869億円
対話・意思反映		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
項目		実績	実績	計画	実績
支部長会議（回数、出席人数）		16回 386人	16回 397人	20回 450人	20回 531人
組合員座談会（回数、出席人数）		16回 261人	15回 365人	15回 200人	12回 409人
准組合員向け広報誌・ホームページを活用したアンケート（回数、意見提出人数）		1回 521人	1回 920人	1回 250人	1回 903人

第10次中期経営計画（農業振興計画含む）－令和7年度～令和9年度－

第10次中期経営計画（農業振興計画含む）は、当JAの社会的存在意義を定義し、「協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かなくらしと活力ある地域社会を実現する」に向けて、第1の柱「農業振興計画」・第2の柱「組合員のくらしサポート」・第3の柱「経営基盤強化」・第4の柱「地域貢献活動」の4つの戦略を柱に策定しました。

総合事業の強味を活かした各部署・支店・アグリセンター・直売所との連携強化を図りながら、組合員にとって「身近な存在」となれるよう役職員一丸となって取り組んでまいります。

J A東京あおばの「めざす姿2030」

① 都市農業を守る

組合員と共に都市農業を振興し、農業・農地を次世代につなげ都市農業の多様な機能を発揮している姿

② 組合員のくらしをサポートする

組合員の身近な存在として、相続をはじめとした多様なニーズ・相談にこたえ、組合員のくらしをサポートしている姿

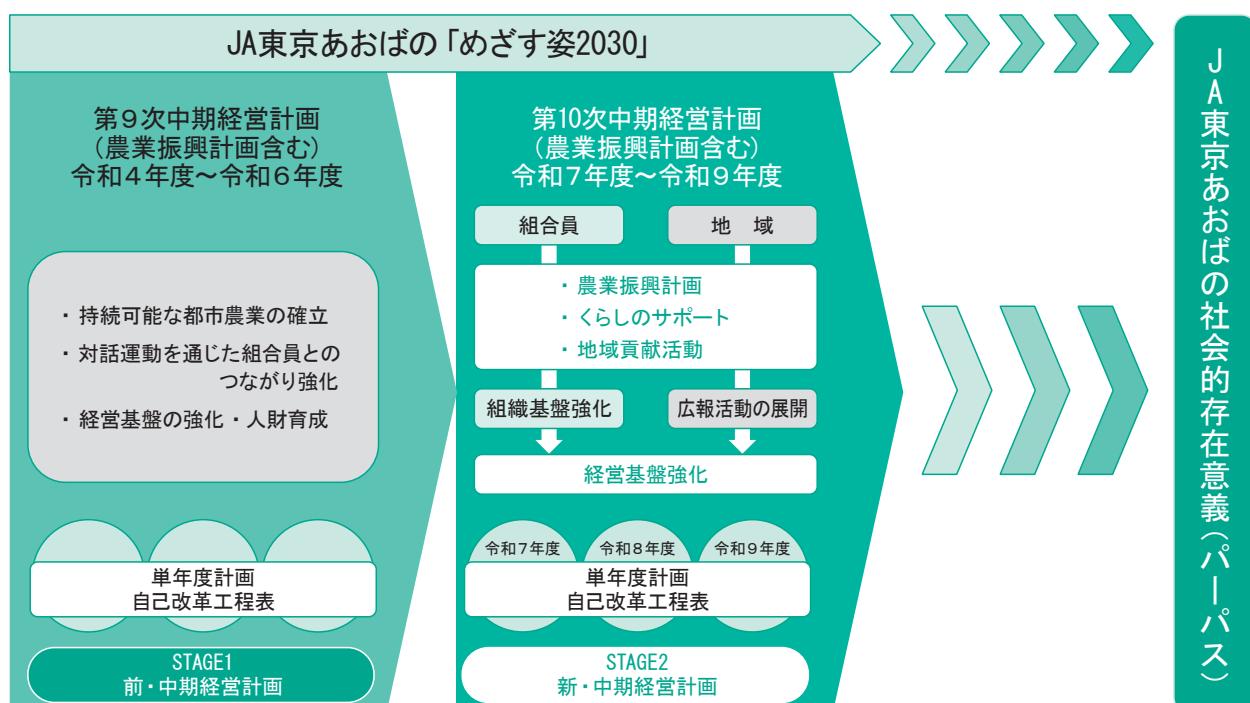
③ 持続可能な経営基盤の確立

経営基盤の拡大、収益力の強化、業務の効率化を図りさらなるコンプライアンス・内部統制の強化をすすめ、経営基盤が安定している姿

④ 食と農を通じた活動で地域に貢献する

食と農を基軸とした協同活動を実践し、都市農業のファンが増えることで、地域の活性化に貢献している姿

第10次中期経営計画（農業振興計画含む）の位置づけ



第10次中期経営計画（農業振興計画含む）－令和7年度～令和9年度－ 体系図

J A 東京あおばの社会的存在意義（パーパス）

協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かなくらしと活力ある地域社会を実現する

経営理念（ビジョン）

農業の豊かさ、人の和を大切にし、地域になくてはならない存在をめざします

使 命（ミッション）

1. 都市農業を守る
2. 組合員のくらしをサポートする
3. 食と農を通じた活動で地域に貢献する

価値観（バリュー）

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 組合員満足（M S） | 3. 地域満足（A S） |
| 2. 職員満足（E S） | 4. 組織満足（S S） |

第10次中期経営計画（農業振興計画含む） 一令和7年度～令和9年度－

めざす姿	第1の柱 農業振興計画	第2の柱 組合員のくらしサポート	第3の柱 経営基盤強化	第4の柱 地域貢献活動
めざす姿	組合員と共に都市農業を振興し、農業・農地を次世代につなげ都市農業の多様な機能を発揮している姿	組合員の身近な存在として、相続をはじめとした多様なニーズ・相談にこたえ、組合員のくらしをサポートしている姿	経営基盤の拡大、収益力の強化、業務の効率化を図りさらなるコンプライアンス・内部統制の強化をすすめ、経営基盤が安定している姿	食と農を基軸とした協同活動を実践し、都市農業のファンが増えることで、地域の活性化に貢献している姿
重点施策	1. 都市農地の保全支援 2. 都市農業の担い手支援・育成 3. 農業所得増大に向けた取り組み強化 4. 都市農業の多様な機能の発揮	1. 組合員とのつながり深耕 2. 総合事業の強みを発揮した相続サポート 3. くらしサポート強化に向けた体制整備	1. 組織基盤の活性化 2. 安定的な財務基盤の構築 3. 人財確保・育成の強化 4. コンプライアンス経営の実践・内部統制の強化	1. 協同活動の実践 2. 広報活動の展開

単年度計画（令和7年度～令和9年度）

自己改革工程表

第10次中期経営計画（農業振興計画含む）－令和7年度～令和9年度－

第1の柱 農業振興計画

重点施策1－1 都市農地の保全支援

将来に向けて都市農地を保全していくため定期的な訪問活動を行い農地管理状況等の情報把握に取り組みます。

また、情報を基に農業者が次世代へ都市農地を受け継いでいくビジョンを描けるよう行政と連携を図ります。

重点施策1－2 都市農業の担い手支援・育成

都市農業を取り巻く環境が厳しさを増すなかで、各組織部会と連携し、担い手一人ひとりが長期的な営農の継続を実現できるように支援・育成に取り組みます。

重点施策1－3 農業所得増大に向けた取り組み強化

直売所利用者ニーズに基づいて、出荷者に効果的な作付提案を行うことで、販売力強化に取り組みます。また、地域住民に直売所を積極的にPRし利用者を増やしていくことで、これまで以上に活気のある直売所をめざします。

重点施策1－4 都市農業の多様な機能の発揮

農産物の生産・供給をはじめ、都市農業が持つ多様な機能（農業体験、学習・交流の場・癒し等）を発揮していきます。

第2の柱 組合員のくらしサポート

重点施策2－1 組合員とのつながり深耕

組合員にとって「身近な存在」となれるよう、訪問活動や様々な接点を通じ、「Face To Face」により組合員、次世代とのつながりや関係性（リレーションシップ）をこれまで以上に深めます。

重点施策2－2 総合事業の強みを発揮した相続サポート

組合員アンケートで最も要望の多かった「相続」をテーマに各部署が連携し、組合員一人ひとりのニーズに合わせた提案・実行支援することで総合事業の強みを発揮する課題解決型の相談業務を行います。

重点施策2－3 くらしサポート強化に向けた体制整備

組合員のニーズや課題が多様・複雑化するなかで、収集した情報を共有し、部署間連携を強化するための体制整備に取り組み、組合員のくらしをサポートします。

第3の柱 経営基盤強化

重点施策 3－1 組織基盤の活性化

組合員組織の基盤強化をするため、一戸複数組合員制による正組合員加入を促進するとともに、「正組合員と共に、農業や地域経済の発展を共に支える組合員」として、地域の農業振興を応援する准組合員の加入促進に取り組みます。

また、組合の活動主体である支部・組織部会の活性化を図ります。

重点施策 3－2 安定的な財務基盤の構築

持続可能な経営を確立するための必要な事業利益を設定し、事業ごとに実効性ある計画を策定実践します。また、早期警戒制度に対応するとともに、安定的な財務基盤の構築に取り組みます。

重点施策 3－3 人財確保・育成の強化

「組織は人である」を念頭に、持続可能な経営の原動力は職員一人ひとりであること全役職員で認識し、人財確保・育成に取り組みます。

また、これからの都市農業やJAを担う次世代の組合員リーダーを育成します。

重点施策 3－4 コンプライアンス経営の実践・内部統制の強化

組合員・地域の皆さまが安心してご利用いただくために、コンプライアンス経営の実践、マネー・ローンダリング等防止および反社会的勢力等との取引排除に取り組みます。

また、内部統制システム基本方針に基づき、組合の適切な内部統制の構築・運用に取り組みます。

第4の柱 地域貢献活動

重点施策 4－1 協同活動の実践

JAの社会的役割である食農教育活動を実践するとともに、地域社会に貢献する協同活動を組合員と共に取り組みます。

重点施策 4－2 広報活動の展開

組合員・地域の架け橋になる情報発信を行い、JA活動や協同組合の価値、都市農業への正しい理解と共感を広め、都市農業、JAのファンづくりにつながる広報活動を展開します。

JA東京あおばの自己改革工程表 [－令和7年度～令和9年度－]

重点施策

成果指標・計画値

農業振興計画		令和7年度	令和8年度	令和9年度
都市農地の保全支援		計画	計画	計画
生産緑地所有者への全戸訪問		全戸	全戸	全戸
農業所得増大に向けた取り組み強化		計画	計画	計画
直売所売上高	令和9年度末：4億6,000万円	4億3,847万円	4億5,000万円	4億6,000万円
直売所の来店者数	3か年合計：100万人	30万人	35万人	35万人

組合員のくらしサポート		令和7年度	令和8年度	令和9年度
組合員とのつながり深耕		計画	計画	計画
支部員、正組合員定期的訪問		令和9年度末：面談率90%	80%	85%
総合事業の強みを発揮した相続サポート		計画	計画	計画
農地保全型相続対策プランの提案		3か年合計：提案件数50件	10件	15件
提案したプランの実行支援		3か年合計：実行支援25件	4件	10件
遺言信託契約		3か年合計：契約件数30件	10件	10件

経営基盤強化		令和7年度	令和8年度	令和9年度
組織基盤の活性化		計画	計画	計画
新規組合員加入推進		3か年合計：1,500人	500人	500人
安定的な財務基盤の構築		計画	計画	計画
貯金残高の伸長	令和9年度末：貯金残高 4,910億円	4,880億円	4,895億円	4,910億円
融資残高の伸長	令和9年度末：貸出金残高 1,780億円	1,700億円	1,740億円	1,780億円
長期共済保有高の維持	令和9年度末：長期共済保有高 7,450億円	7,450億円	7,450億円	7,450億円
人財確保・育成の強化		計画	計画	計画
多様な採用活動の実施による人財確保	令和9年度末：職員数430人	425人	427人	430人
エンゲージメントスコアの向上	令和9年度：70ポイント以上	69ポイント	70ポイント	70ポイント以上

地域貢献活動		令和7年度	令和8年度	令和9年度
協同活動の実践		計画	計画	計画
地域イベントへの参加		3か年合計：30回	10回	10回
広報活動の展開		計画	計画	計画
SNSの情報発信	令和9年度末：SNSフォロワー数3,000人	2,200人	2,600人	3,000人
支店だよりの発行	全支店毎年発行	全支店	全支店	全支店

対話・意思反映		令和7年度	令和8年度	令和9年度
項目		計画	計画	計画
支部の活性化（支部活動への支援・参加）		全支店	全支店	全支店
広報誌・ホームページを活用した准組合員アンケート（回数・意見提出人数）		1回、500人	1回、500人	1回、500人

人材から人財へ(職員の各種資格取得状況)

当JAは、組合員・利用者皆さまのさまざまなニーズや相談にお応えするために、各種資格取得を奨励しています。

こちらに表記しているものは資格試験の名称です。令和7年3月31日現在資格保有人数累計(令和7年3月末退職者除く、子会社含む)

()は令和6年度取得人数

農業協同組合監査士	10名	J G A P 指導員	5名
中小企業診断士	1名	J A バンク農業金融プランナー	5名
社会保険労務士	2名	日本農業技術検定 2級	7名(2)
CFP・1級FP技能士	6名(3)	日本農業技術検定 3級	65名(27)
AFP・2級FP技能士	134名(11)	日本農業検定 1級	21名
DCプランナー2級(企業年金)	2名	日本農業検定 2級	100名
		日本農業検定 3級	115名
行政書士	2名	野菜ソムリエ	9名
宅地建物取引士	63名(4)	毒物劇物取扱者	40名
賃貸不動産経営管理士	18名(1)	わな猶免許	12名
不動産コンサルティングマスター	7名	食品衛生責任者	22名
内部管理責任者(証券外務員)	260名(26)		
第1種証券外務員	342名(29)		
損害保険募集人	169名	J A 職員資格認証	
遺言信託(信託業務)	210名	農業協同組合内部監査士	55名(3)
個人情報取扱主任者	339名(31)	営農指導員	31名(2)
金融AMLオフィサー[実践]	158名(37)	上級	261名(10)
金融AMLオフィサー[基本]	104名(25)	中級	56名(12)
衛生管理者(第1種・第2種)	12名(1)	初級	36名(16)
ITパスポート	13名(3)	※JA職員資格認証試験とは、職員の資質及び技術の向上を図り、JAの社会的使命を全うする人材を養成することを基本理念としたJA系統の内部試験です。	



JA東京あおばのご案内は映像でもご覧いただけます

JA東京あおばでは、事業活動や経営概況の映像を作成し、Youtubeで公開しております。ぜひご覧ください。

※WEBへの接続の際に生じる通信料は、ご覧になられる方のご負担となります。

あらかじめご了承ください。



<https://www.youtube.com/channel/UCsYYPPJV2TRJuOtzclazeVw>

JA東京あおばは、組合員・利用者皆さまの声を誠実に受け止めます。

JA東京あおばでは、組合員・利用者皆さまにご満足いただけますよう日頃から心がけておりますが、当JAの事業・活動について、ご意見ご要望等がございましたら、下記の窓口にて受け付けておりますので、お気軽にお申し出ください。

経営企画部 経営企画課 TEL.03-5372-1312

当JAに関する情報はこちらの
ホームページでご覧になれます。

受付時間

月～金曜日(土日祝日を除く)

午前9時～午後5時

検索

JA東京あおば

<https://www.ja-tokyoaoba.or.jp>

